

第6次志免町総合計画後期基本計画(修正案)

基本目標1 “ひと”と“まち”がにぎわい魅力あふれるまち

1 人権の尊重と男女共同参画社会の構築

施策のめざす姿

多様な価値観や生き方が尊重され、誰もが支えあいながら輝ける社会の実現とともに築けるまち

町の取組1 人権意識の確立と人権擁護の推進

人権・平等の意識が高まり、男女、高齢者、障がい者、子どもなどに関わらず、人権侵害をしない・されないまちをつくる	
現状： 全国と比較すると、人権が守られていると感じる町民の割合が多い	課題： 人権意識が高い現状を維持しつつ、さらにその意識を町民全体に浸透させるための継続的な啓発活動が必要である

取組方針：

- 多様化する人権問題に迅速かつ的確に対応できるよう、講演会や研修を開催する
- 人権擁護委員※1などの関係機関と連携し、様々な問題に対応でき、相談しやすい体制づくりを行う

KPI-成果指標：

No.22 修正箇所 ※次ページ以降も同じ修正をします

指標名	現状値(R6)	目標の方向性	目標値(R12)
人権が守られていると感じる町民の割合	85.7%	上昇	90.0%

町の取組2 男女共同参画の推進

男女が互いの人権を尊重しながら責任を分かち合い、性別にかかわらず個性や能力を十分に発揮できるまちをつくる	
現状： 女性の就業率上昇に伴い、共働き世帯が増加している	課題： 男女間の意識差を解消し、性別にとらわれない公平な社会を目指すため、地域や企業での取組が必要である

取組方針：

- 志免町男女共同参画行動計画を策定し、男女共同参画を推進する
- 地域や企業に対してワーク・ライフ・バランス※2についての周知啓発を行う

KPI-成果指標：

指標名	現状値(R6)	目標の方向性	目標値(R12)
審議会等における男女委員の各構成割合	女性 41.0% 男性 59.0%	維持	男女ともに 40.0%以上 60.0%以下

第6次志免町総合計画後期基本計画(修正案)

みんなができること

●町民・個人

- ・人権問題に関心を持ち、正しい知識を身に付ける
- ・固定的な性別役割分担意識や偏見がないよう努める

●町内会・地域

- ・地域交流を図り、人権について理解を深める
- ・性別にかかわらず参加できる組織や行事づくりに努める

●企業・団体

- ・職員研修などを実施し、人権問題に組織的に取り組む
- ・性別にかかわらず、誰もが活躍できる組織づくりに努める
- ・ワーク・ライフ・バランスを実現できるよう努める

関連する主な個別計画

- ・志免町教育大綱
- ・第3期志免町教育振興基本計画
- ・志免町人権教育・啓発基本指針
- ・第3次志免町男女共同参画行動計画

用語解説

1. 人権擁護委員…地域の人々から人権相談を受け、問題解決を手伝ったり、人権の侵害を救済したり、地域の人々に人権について関心をもってもらえるような啓発を行う者
2. ワーク・ライフ・バランス…老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、さまざまな活動について自ら希望するバランスで展開できる状態

第6次志免町総合計画後期基本計画(修正案)

基本目標2 “子どもの笑顔があふれるまち”

6 学校教育の充実

施策のめざす姿

家庭・地域・学校が一体となり、子どもたちが幸せを実現できるような「生きる力」を育むまち

町の取組1 いじめ・不登校対策の充実

いじめや不登校の防止に努めるとともに、安心して学校に通える学びの機会を保障するまちをつくる	
現状: ・いじめの認知件数のうち解消した件数の割合が全国比より低い状況にある ・不登校の割合が全国平均より高い状況にある	課題: ・いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応ができる体制づくりと、解消に向けた丁寧な取組が必要である ・様々な理由で教室に入れない子どもや不登校の子どもが、学級や学校に戻ることを含め、多様な学びにつながることでできる支援が必要である

取組方針:

- 関係機関と連携し、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応をさらに推進する
- 教室に入れない児童生徒の居場所を確保する
- 児童生徒が相談しやすい体制をつくる

KPI成果指標:

指標名	現状値(R6)	目標の方向性	目標値(R12)
いじめの認知件数のうち解消した件数の割合	72.2% (〇〇%)	上昇	全国平均値以上
相談・指導を受けていない不登校児童生徒の割合	小学校 25.0% (〇〇%) 中学校 29.0% (〇〇%)	下降	全国平均値以下

※()内は全国平均値

町の取組2 学校生活の充実

No.23 修正箇所 ※数値は確認中

「ふるさと志免」を愛し、多様性を認め、たくましく生きる力を備えられるまちをつくる	
現状: ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合が全国平均を下回っている ・特別の支援を必要とする児童生徒が増加している	課題: ・地域とともにある学校をめざし、子どもが地域の担い手としての自覚を持てるような学校教育を進める必要がある ・子ども一人ひとりの自立と社会参加をめざし、個に応じた支援を充実させる必要がある

取組方針:

- 地域のひと・もの・ことを教材に取り入れ、総合的な学習の時間などの授業の充実を図る
- コミュニティ・スクール※1を推進する
- 子どもの障がいや発達の段階に応じた支援を充実させる

KPI成果指標:

第6次志免町総合計画後期基本計画(修正案)

指標名	現状値(R6)	目標の方向性	目標値(R12)
「地域や社会をよくするために何かしてみたい」児童生徒の割合	小学校 87.8% (〇〇%) 中学校 71.6% (〇〇%)	上昇	全国平均値以上

※()内は全国平均値

町の取組3 教育環境の整備

No.23 修正箇所 ※数値は確認中

子どもたちが安全かつ快適に過ごせる環境を整え、教職員が指導力を発揮できるまちをつくる	
現状: ・ICT※2 整備が進んだことにより、小中学校の教育内容と環境に満足している町民の割合は上昇傾向にある ・授業に ICT を活用して指導できる教職員の割合は全国平均を上回っているが、教員間で ICT の活用度に差がある	課題: ・学校施設の老朽化が進んでおり、学習環境への影響が懸念される ・教員間で効果的な ICT 活用方法を共有し、活用の均一化を図る取組が必要である

取組方針:

- 学校施設を適切に管理する
- 学校の ICT 機器を適切に管理する
- 教員が ICT 活用の知識をつけられるよう、研修や講座の開催・情報提供などを行う
- ICT を授業に活用できる体制をつくる

KPI成果指標:

指標名	現状値(R6)	目標の方向性	目標値(R12)
小中学校の教育内容と環境に満足している町民の割合	44.4%	上昇	50.0%

町の取組4 学力体力の向上

子どもたちが健やかに学び、たくましく育つまちをつくる	
現状: ・全国学力・学習状況調査の結果において、小中学校ともに教科ごとのばらつきは見られるものの、総じて標準的な学力水準を維持している ・家庭学習・運動の習慣がない児童生徒が多い	課題: ・児童生徒の資質・能力を的確に把握し、学力層に応じたきめ細やかな指導が必要である ・家庭学習や運動の習慣づけを通じて、主体的に学び健やかに成長する力を育むための支援を充実させる必要がある

取組方針:

- 子どもたちの課題解決能力を育成するため、学ぶ意欲などを高める指導法や主体的で参画型の授業を推進する
- 家庭学習の習慣化を進める
- 子どもたちが積極的に体を動かす機会を増やし、健やかな生活習慣の形成を支援する

KPI成果指標:

指標名	現状値(R6)	目標の方向性	目標値(R12)
全国学力・学習状況調査	小学校国語 107.3 小学校算数 104.0 中学校国語 100.0	上昇	標準化得点100以上 (全国平均以上)

第6次志免町総合計画後期基本計画(修正案)

	中学校数学 95.2		
全国体力・運動能力 運動習慣等調査	小学校男子 49 小学校女子 46.2 中学校男子 53.1 中学校女子 52.2	上昇	T 得点50以上 (全国平均以上)

みんなができること

●町民・個人

- ・いじめに対する関心を持ち、正しい知識を持つとともに、自身や友人の心の変化に気づき、いじめや不登校となりうる事象について発信できるようになる
- ・発達特性についての正しい理解をする
- ・地域の学校への関心を持ち、地域活動に参加する

●町内会・地域

- ・児童生徒が学校に通えないことの様々な原因について理解を深める
- ・地域の学校への関心を持ち、学校活動に参加する

●企業・団体

- ・不登校の児童生徒への居場所を提供する
- ・地域の学校への関心を持ち、学校活動や地域活動に参加する

関連する主な個別計画

- ・志免町教育大綱
- ・第3期志免町教育振興基本計画
- ・志免町いじめ防止基本方針
- ・志免町学力向上推進プラン

用語解説

1. コミュニティ・スクール…学校と地域住民などが力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能になり、地域と一体になって特色ある学校づくりを進めていくことができる仕組み
2. ICT…「Information and Communication Technology(情報通信技術)」の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指し、情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称

第6次志免町総合計画後期基本計画(修正案)

基本目標5 “環境にやさしく快適に暮らせるまち”

15 快適な生活環境の維持と循環型社会の構築

施策のめざす姿

町民・事業者・まちのオール志免で環境問題を自分ごとと捉え、快適な住環境とサステナブルな循環型社会が実現され、「未来への責任」を果たすまち

町の取組1 衛生環境の維持・環境美化意識の向上

No.10 修正箇所

美化意識が高まり、生活環境被害が軽減された誰もが住みよいきれいなまちをつくる	
現状：ごみの不法投棄、ペットや野良猫などによる糞害、騒音などの生活環境被害が後を絶たず、町民の不満や要望が多く寄せられている	課題：生活環境被害を減らすためのさらなる取組が必要である

取組方針：

- 町民や事業者が生活環境問題を自分ごととして捉え、モラルを向上させるための啓発や指導を実施する
- 不法投棄を重大犯罪として認識させる取組を進め、環境監視作業員※1を効果的に活用する
- 普段からの美化活動を推進し、「自分たちのまちは自分たちできれいにする」という意識向上を図る
- 野良猫への無責任な餌やりに対して適切に指導し、地域猫活動を支援することで、地域の生活環境改善を図る

KPI成果指標：

指標名	現状値(R6)	目標の方向性	目標値(R12)
町の環境衛生について、特に気になることがない町民の割合	36.2%	上昇	44.4%

町の取組2 ごみの収集処理

ごみ出しルールが徹底され、適応なごみの収集・処理が行われる清潔なまちをつくる	
現状：ごみ出しルールや分別の不徹底により、近隣の住環境への悪影響やリサイクル率の低下、収集・運搬業者への負担の増加といった問題が生じている。	課題：ごみ出しルールや分別方法の周知徹底を図る必要がある

取組方針：

- 町民と事業者に適応なごみ出しや分別ルールの徹底を呼びかけ、マナー向上を促す
- 「志免町ごみ分別アプリ」の登録を推進し、分別意識の向上を図る
- 事業者には産業廃棄物の混入防止を周知徹底する

KPI成果指標：

指標名	現状値(R6)	目標の方向性	目標値(R12)
町民一人1日当たりのごみ(燃やせるごみ)の排出量	598g	下降	600g以下

第6次志免町総合計画後期基本計画(修正案)

町の取組3 循環型社会の推進

環境問題に高い意識を持ち、町民や事業者がそれぞれの立場で地球温暖化対策に取り組むまちをつくる	
現状: ・集団資源回収団体の担い手不足や活動負担の増加により、団体数や回収量が減少している ・温室効果ガスの排出抑制に向けた取り組みが十分に浸透していない	課題: 持続可能な社会を実現するため、長期的に取り組むことができる財政的・組織的な基盤の構築が必要である

取組方針:

- 町民・事業者・町が連携し、地域脱炭素を推進しながら地域課題の解決を図る
- 省エネや再生可能エネルギー導入支援の仕組みを整備する
- 集団資源回収団体が活動しやすい環境づくりを進める

KPI成果指標:

指標名	現状値(R6)	目標の方向性	目標値(R12)
1年間の資源回収量	495t	維持	495t

みんなができること

●町民・個人

・生活環境問題を自分ごととし、環境美化活動への参加やルールの順守、省エネや4R※2、食品ロス削減など、環境に配慮した取組を積極的に実施する

●町内会・地域

・生活環境被害が起こらないよう、環境美化活動や町の環境施策に協力する
 ・集団資源回収の体制を維持・継続するとともに、地球温暖化対策について、学校、地域などでの多様な学習機会を提供する

●企業・団体

・生活環境問題に対する社会的責任を果たすため、活動への積極的な参加、産業廃棄物の適切処理、社内・団体内での環境に配慮した取組の周知・実践を行う
 ・生産・流通・販売時のプラスチックの使用抑制や過剰な包装の抑制を行う
 ・自らが実施する地球温暖化対策について、その取組を広く周知し、町民や他の事業者への意識啓発につなげる

関連する主な個別計画

- ・志免町一般廃棄物処理基本計画
- ・志免町地球温暖化対策実行計画

用語解説

1. 環境監視作業員…ごみの分別及び不法投棄ごみの監視・指導や、ポイ捨て及び犬のふんの放置などに対するモラル向上に向けたパトロール活動を行う監視員
2. 4R…Reduce リデュース:排出抑制、Reuse リユース:再使用、Recycle リサイクル:再生利用、Refuse リフューズ:発生回避の4つのRの総称

第6次志免町総合計画後期基本計画(修正案)

基本目標6 “住民と行政がともに創るまち”

21 公正公平な税の確保

施策のめざす姿

安定的な税が確保された持続可能なまち

町の取組1 適正な課税と公正な徴収

安定的な自主財源を確保する	
現状： 徴収率は毎年微増傾向にあり、共通納税の開始により納付方法の多様化を図ることができている	課題： 報告書や申告書の未提出により、課税に必要な情報を十分に把握できない場合がある

取組方針：

- 申告や報告書報告書や申告書の提出の重要性を広く周知する
- 納付方法の利便性を高め、納期限内の自主納付を向上させる
- 法令などに基づき、適正な滞納整理や財産処分を行う

No.14 修正箇所

KPI-成果指標：

指標名	現状値(R6)	目標の方向性	目標値(R12)
町税収納率	※決算後確定	維持	97.1%

みんなができること

- 町民・個人
 - ・必要な税の申告を行う
 - ・期限内に納付し、納税の義務を果たす
- 町内会・地域
 -
- 企業・団体
 - ・法令に定められている課税に必要な報告書や申告書を滞りなく提出する
 - ・期限内に納付し、納税の義務を果たす

関連する主な個別計画

—

用語解説

—